



幸 楽 苑 だ よ り



6 月号

発行元：介護老人保健施設 宇部幸楽苑
発行日：令和7年 6月1日
TEL 0836-51-3113 FAX 0836-51-5522



『明るく 優しく』

敬意をもって』

2F 理学療法士 富田 康平

5月の中旬から月末にかけ、苑外散策として山口宇部空港（以下空港）にバラを皆様と観に行きました。空港のバラは毎年皆様と見に行くのですが、今年も圧巻で、手入れをされている方々に頭が下がります。

皆様も行かれたことはあると思いますが、空港の敷地内だけで約200品種、約1000株植えてあります。昨今はSNSの普及により、空港のバラは全国的にも有名になりつつあるようです。

若い頃は花などにはあまり興味がなかったのですが、利用者様と散策に行くようになり関心を持つようになりました。

その私が多くの品種の中で一番好きな花があります。「夢香」という品種です。「夢香」の色は薄い黄色味の入った桃色で、中心にいくにつれて濃い桃色となります。左上の写真が夢香です。

色も綺麗なのですが、特に好きなポイントとしては、とてもいい匂いがします。バラの中でも強香（香りが強い）の品種で柑橘系のさわやかな良い香りです。

四季咲き性の種類で、春・秋にも咲くので、皆様も機会があれば足を延ばしてみたいかがでしょうか？

話は変わりますが、毎年行っている苑外散歩について、利用者様がご家族と自由に外出できるようになった時に、安心して外出して頂く為にも実施しています。

また、歩行可能な方に対しては、普段歩かない様な屋外での歩行練習、車の乗り降りなどの動作獲得などに取り組んでいます。

現段階では、ご家族様のみでの外出は難しい状況ですが、今後もこのような苑外散策等の活動を通じて、入所者様の運動機能の向上を支援して参ります。





「徒然なるままに…」

1階 介護士 西村 元宏

6月と言えば「梅雨」を思い浮かべますが、「つゆ」「ばい」と2つの読み方があります。

「ばい」は中国からきた言葉で、梅の実が熟す頃の雨の事を指します。この時期、湿度が高くてカビが生えやすいことから付けられた名前らしいです。

一方、「つゆ」は日本独自の読み方として定着したもので、梅の実が熟して潰れる時期や、湿気で露(つゆ)のように濡れている様子であり、カビが生えやすいことから「つゆ」と呼ぶようになったとする説があります。(※諸説あり)

さて、北海道は梅雨の影響を受けにくいという話を耳にしますが、その理由を皆さんご存知でしょうか？

理由は北上しようとする梅雨前線がオホーツク高気圧に押し返されることが殆どであり、このことから北海道は梅雨の影響を受けないという事になります。逆に稀ではありますが南の太平洋高気圧が勢力を増している時は前線が通常より北上し「蝦夷梅雨」と言われる梅雨の状態に陥ります。

ジメジメとして不快な梅雨がやって参りますが、エアコン等を活用し、適切な湿度調整(40〜60%)を行いながら快適な6月を過ごしましょう！

